

RID2660 地区国際奉仕委員会 NEWS LETTER

2021-22 年度 第 3 号



SERVE TO CHANGE LIVES



< 2022 年 国際大会 >
ヒューストン

●国際大会●
2022 年 6 月 4 日～8 日

●大阪地区ナイト●
2022 年 6 月 4 日 夕刻予定
(詳細は後日ご案内いたします)

皆様のご登録・ご参加を
お待ちしております。

大会の詳細については
My Rotary に随時掲載されますので、
下記リンクよりご確認ください。

<https://convention.rotary.org/ja>

ご挨拶

2021-22 年度 地区国際奉仕委員会
副委員長 徳上 洋之

平素は地区国際奉仕委員会の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。地区国際奉仕委員会 副委員長の徳上 洋之と申します。

皆様におかれましてはコロナ禍にて皆様のご苦勞をお察しし心よりお見舞い申し上げます。

さて今年度のクラブ国際奉仕委員長会議において報告がありましたように 2660 地区では、このコロナ禍により国際奉仕活動が停滞しているクラブが約 9 割あることがわかりました。コロナ禍で国際奉仕活動のニーズが高まっている中、我々の都合で奉仕活動を止めるべきではないのは明白です。

そんな中でも安全性を確保しつつ国内にいながらでもきっちり国際奉仕活動を実行されているクラブもありました。

今回はその中でも活発に国際奉仕活動をされている茨木 RC 国際奉仕副委員長の久保 秀一 会員にコロナ禍における国際奉仕活動について取材を致しました。

是非ご一読賜り、皆様の今後の活動の一助になれば幸いです。

NEWS LETTER 2021-22 年度 第 3 号



(久保 秀一 会員)

茨木ロータリークラブ

<例会場>

割烹 片桐 2F

〒567-0882 大阪府茨木市元町 6-3

TEL (072)626-2722

ビクターフィー 3,000 円

<例会日時>

毎週 水曜日 12:30~13:30

会員数 29 名 (2022 年 1 月末現在)

〔事業内容・目的〕

徳上副委員長：茨木 RC さんは非常に活発に国際奉仕活動をされていますが、活動するにあたって一番大切にされていることは何ですか？

久保会員：現地調査だと思っています。日本で見聞きした状況ニーズと現地の状況ニーズが同じかどうか現地に赴き調査することが大事だと思っています。

徳上副委員長：コロナ禍において現地調査は困難なのではないでしょうか？

久保会員：茨木 RC は海外の姉妹クラブと共同で奉仕事業計画することでコロナ禍においても支援先の真のニーズを発見することができます。海外渡航ができなくても海外の姉妹 RC と共同で計画することで国際奉仕活動がスムーズに活動できると思います。また現地のロータリークラブが中心となり継続的な支援を行ってくれますので一時的な支援にならず未来につながる事業ができます。

徳上副委員長：海外の姉妹クラブとの共同事業で通訳など言語の問題があると思うのですがどのようにクリアされていますか？

久保会員：ジョグジャカルタ RC には日本語堪能なロータリアンがいらっしゃいます。またインドネシア日本国総領事館とも懇意にしていることで非常にスムーズに奉仕活動の計画、実行ができています。

〔具体的な支援について〕

徳上副委員長：ジョグジャカルタ RC と共同で行ってられる支援を具体的に教えてください

久保会員：①2019-20 年度 救急バイク寄贈事業です。地区補助金を使いました。救急車より早く医師が現地に到着できるのがモーターバイク救急車です。(写真①)

②2020-21 年度 医療関係者のための保護具寄贈事業です。マスクやフェイスシールドなどコロナウイルスから医療従事者を守る物品を寄贈いたしました。(写真②)

③2021-22 年度 モバイルライブラリー寄贈事業です。地区補助金を使いました。(写真③)



<写真①>



<写真②>



<写真③>

日本の移動図書館とよく似た感じのものです。2 ユニットのモバイルライブラリーと書籍を寄贈したいと思っております。また継続的な支援として書籍の追加寄贈も考えています。寄贈しました後の運用保守等の費用は全てジョグジャカルタ特別州図書館が行ってくれますので未来につながっていく事業になると思います。

徳上副委員長：救急モーターバイクの発想はどこから浮かんだのでしょうか？

久保会員：インドネシアは公共交通機関が整備しきれてないためマイバイクが多く交通渋滞が激しい国です。そのため救急車が間に合わず多くの命が失われてきました。そこで救急車よりも早く医師が現地に到着できるように渋滞時や細い道でもスムーズに移動できるバイク救急車を考えつきました。

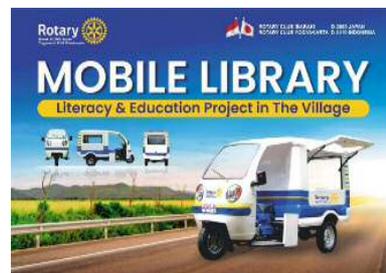
〔工夫した点〕

徳上副委員長：ロータリー活動を世界に広く知ってもらうために何か工夫されていますか？

久保会員：寄贈したバイクやモバイルライブラリーの車体に多くのロータリーロゴを入れました。ロータリーの活動を多くの一般の方々に認知していただけたと思っています。（写真④ ⑤）



<写真④>



<写真⑤>

徳上副委員長：国際奉仕活動で地区補助金を使うとき年度をまたぐ計画実行となりますが、何か工夫されていることはありますか？

久保会員：国際奉仕委員長は次年度も国際奉仕に関わるポジションに就いてもらってます。これによりスムーズな引き継ぎが可能となります。

徳上副委員長：その他何か他のクラブの皆様にお伝えしたい事はございますか？

久保会員：茨木 RC の活動にご興味を持っていただけたなら是非ご一報ください。共同での事業も考えております。

徳上副委員長：大変貴重なお話をありがとうございました。

< 発刊 >

2021-22 年度

RID2660 地区国際奉仕委員会

委員長	北井 雄大	大阪平野
副委員長	津田 和義	大阪北梅田
副委員長	徳上 洋之	大阪リバーサイド
委員	津村 昌明	茨木西
委員	西本 恵美子	高槻
委員	中根 三恵子	大阪ユニバーサルシティ
委員	乾 禎則	池田くれは
委員	坂本 一成	吹田西
委員	井上 健一	高槻東
委員	尾島 康弘	大阪堂島
委員	上田 勝嗣	大阪西南
委員	木村 奈奈	大阪水都
委員	山本 章弘	大阪

■ 委員会 毎月第1木曜日(原則) ガバナー事務所にて開催 ■

News Letter に関する お問い合わせ

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所
〒541-0052 大阪府中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
TEL : 06-6264-2660
E-mail : kamo@ri2660.gr.jp

NEWS LETTER 2021-22 年度 第3号